

令和7年度「子どもとはじめる暮らしのエコチャレンジ」取組結果報告書

前年度に引き続き、今年度も「電気」「水」「ごみ」のテーマを通じて、地球温暖化問題の現状とその解決に向けた取り組みについて4年生のみなさんに考えてもらいました。

取り組み後の児童の感想を見ると、地球温暖化問題の深刻な状況の理解や「環境にやさしい生活をしよう」という意識の芽生えが感じられました。今回取り組んだことを日々の暮らしの中で活かし、今後もエコな暮らしを心がけていただきたいと思います。

1 取組状況

市内小学校14校 提出人数 676 人

2 取組結果

1日目から6日目を日常生活のチェック期間、7日目から13日目を電気、水の使用量削減及びごみの減量に向けたチャレンジ期間と位置付け、7日目からは6項目のエコチャレンジに取り組みました。ここでは、その取組結果から「電力削減量」「水道水削減量」「燃えるごみ削減量」及び「二酸化炭素排出削減量」を算出し、子どもたちの取組効果を数値化しました。

子どもたちのエコチャレンジにより、市内小学校14校合計で 513.8kg の二酸化炭素を1週間で削減することができました。

このまま 1年間続けた場合、26,718.5kg の二酸化炭素を削減でき、これは杉の木2,096本が1年間に吸収する二酸化炭素に相当します。

地球上の二酸化炭素排出量全体から見れば小さな数字かもしれませんが、この取り組みをきっかけに、子どもたちから家庭へ、家庭から地域へエコチャレンジの輪が広がることにより、この小さな一歩がやがて地球の未来を変える大きな力になると確信しております。

今後も、地球温暖化防止に向けた取組の拡大を図っていきたいと考えておりますので、御協力をお願いします。

【資料】

(1) 項目別結果

取り組んだ項目		よくできた (3点)	できた (1点または2点)	できなかった (0点)
1	見たい番組がないときはテレビのスイッチを切る	298 人 (44.1 %)	265 人 (39.2 %)	108 人 (16.0 %)
2	人のいない部屋や廊下の電気を消す	454 人 (67.2 %)	164 人 (24.3 %)	53 人 (7.8 %)
3	石鹸で手を洗っている間は水を止める	345 人 (51.0 %)	215 人 (31.8 %)	110 人 (16.3 %)
4	お風呂のとき、体や頭を洗っている間はシャワーを止める	418 人 (61.8 %)	159 人 (23.5 %)	94 人 (13.9 %)
5	「燃えるごみ」「燃えないごみ」「資源ごみ」をきちんと分別する	427 人 (63.2 %)	176 人 (26.0 %)	68 人 (10.1 %)
6	食事は残さないように食べる	387 人 (57.2 %)	228 人 (33.7 %)	56 人 (8.3 %)

(2) 取組合計点

ウルトラ地球防衛隊		地球防衛隊		地球防衛隊見習い		もっと努力が必要	
18点	72 人	12点	51 人	6点	13 人	3点	1 人
17点	49 人	11点	42 人	5点	5 人	2点	2 人
16点	71 人	10点	59 人	4点	2 人	1点	0 人
15点	83 人	9点	23 人			0点	16 人
14点	87 人	8点	20 人				
13点	61 人	7点	19 人				
合計	423 人 (62.6 %)	合計	214 人 (31.7 %)	合計	20 人 (3.0 %)	合計	19 人 (2.8 %)

(3) 削減量

※各項目の算出方法については別記

	電気・水・ごみ削減量		二酸化炭素排出削減量	
	1週間あたり	1年間あたり	1週間あたり	1年間あたり
電力 (項目1・2)	743,688 Wh	38,671,776 Wh	349.5 kg	18,176 kg
水 (項目3・4)	102,493 ℓ	5,329,636 ℓ	36.9 kg	1,919 kg
ごみ (項目5・6)	375 kg	19,483 kg	127.4 kg	6,624 kg
合計			513.8 kg	26,719 kg

別 記

各種削減量等算出方法

共通 「よくできた＝3点」「できた＝1点または2点」「できなかった＝0点」とし、次の条件で各項目の1点当たりの削減量を設定し、それぞれの削減量を算出しています。

また、1年間あたりの数値は1週間あたりの数値に52（週）を乗じて算出しています。

項目1 「見たい番組がないときはテレビのスイッチを切る」

テレビ消費電力＝95w/h、1日1時間スイッチを切った場合を「よくできた（3点）」とする。

よくできた場合の削減量 $95\text{wh/h} \times 1\text{h/日} \times 7\text{日} = 665\text{wh}$

1点あたり削減量 $665\text{wh} \div 3 = 221.6\text{wh} \approx 222\text{wh}$

項目2 「人のいない部屋の電気やろうかの電気を消す」

1部屋照明＝60wh/h、1日1時間2部屋の電気を消した場合を「よくできた（3点）」とする。

よくできた場合の削減量 $60\text{wh/h} \times 1\text{h/日} \times 2\text{部屋} \times 7\text{日} = 840\text{wh}$

1点あたり削減量 $840\text{wh} \div 3 = 280\text{wh}$

項目3 「手を洗うとき、石けんで洗っている間は水を止める」

1分間の水量＝10ℓ、石けんでの洗い時間0.5分間について水を止めた場合を「よくできた（3点）」とする。なお、1日の手洗い回数を2回と仮定する。

よくできた場合の削減量 $10\ell/\text{分} \times 0.5\text{分/回} \times 2\text{回} \times 7\text{日} = 70\ell$

1点あたり削減量 $70\ell \div 3 = 23.3\ell \approx 23\ell$

項目4 「お風呂のとき、体や頭を洗っている間はシャワーを止める」

1分間の水量＝10ℓ、シャンプー及び体洗いの時間2分間についてシャワーを止めた場合を「よくできた（3点）」とする。

よくできた場合の削減量 $10\ell/\text{分} \times 2\text{分/回} \times 7\text{日} = 140\ell$

1点あたり削減量 $140\ell \div 3 = 46.6\ell \approx 47\ell$

項目5 「『燃えるごみ』『燃えないごみ』『資源ごみ』をきちんと分別する」

分別の徹底により、燃えるごみの量を1日当たり90g減量（**項目6**と合せて1日100g減量と仮定）できた場合を「よくできた（3点）」とする。

よくできた場合の削減量 $90\text{g/日} \times 7\text{日} = 630\text{g}$

1点あたり削減量 $630\text{g} \div 3 = 210\text{g}$

項目6 「食事は残さないように食べる」

1日あたりの食べ残し量を10gと仮定し、食べ残しをしなかった場合を「よくできた（3点）」とする。
（参考：「H26年度食品ロス統計調査」一人1日あたりの食べ残し量 11.0g）

よくできた場合の削減量 $10\text{g/日} \times 7\text{日} = 70\text{g}$

1点あたり削減量 $70\text{g} \div 3 = 23.3\text{g} \approx 23\text{g}$

二酸化炭素排出削減量

各チャレンジ項目で削減された数値に、次の二酸化炭素排出係数を乗じて算出

①電気関係 二酸化炭素排出係数 0.47 kgCO₂/kwh

②水関係 二酸化炭素排出係数 0.36 kgCO₂/m³

③ごみ関係 二酸化炭素排出係数 0.34 kgCO₂/kg